

## 研修報告書 No. 2

私は 2023 年 4 月に研修をさせていただきました。研修先の病院では、以前にも他院からの研修医が地域医療研修でローテートしていたことは知っていましたが、自院からの研修は前例がなかったこともあり、初日は少々緊張しながら高知医療再生機構の方に案内していただきました。非常に温かく迎え入れていただき、あまり不安はなく研修を開始することができました。

病院の概要ですが、もともとは入院病床 150 床ですが、私が研修したときはまだコロナ用病床の確保があったため実働の病床数は 100 床あまりでした。気候が穏やかな時期であったこともあり、平日日中は平均すると救急搬送は 1 日 1-2 件程度、夜間は walk-in 数件と救急搬送が 0-2 件程度でした。市街地に位置する中核病院のような位置づけの病院であり、検査に対するアクセスは比較的良好で、初療の段階で特殊な検査ができなくて診断や治療に悩む症例は少ないような印象でした (ICU はないため重症の患者さんの受け入れは難しい面はありました)。医局は総合医局で、科の垣根は非常に低く、他科の先生方に比較的気軽に意見を求められるような環境だと感じました。

さて、研修内容ですが、内科/外科/小児科外来、救急外来、病棟、その他検査を含めて多岐にわたって触れることができました。なかでも、普通の研修病院と一番大きく異なる点としては、研修医が内科外来を担当する点だと思います (研修病院によっては外来も行うかもしれませんが、少なくとも自施設では研修医が外来を担当する機会はほとんどありません)。当初は外来自体が初めてなので、様々な主訴、様々な年齢、背景で来院される患者さんに対して、何を聞いたらよいのか、どう診療するのがよいのか、困惑していました。入院患者さんを病棟で診るのは異なり、初対面の患者さんに外来という限られた時間で適切な医療面接を行い、本当の問題点を抽出し、問題解決していくのは相当難しいことだと痛感しました。患者さんが話しやすい雰囲気を作り、適切に医療面接を行うコミュニケーション能力は教科書的な知識だけでは到底どうしようもないもので (もちろん教科書的な知識は必要ですし私自身まだまだ知識も足りていないことは自覚しておりますが)、上級医の先生方や周囲のスタッフの方々の話し方が非常に参考になるなと思いながら聞いていました。外来診療中は医学的な部分 (を中心に何を聞いても無下にはされませんが) に関しては、上級医の先生がすぐに対応できるような形でバックについて、些細なことでも優しく指導してもらえました。ある程度方針が立てられたときは診療方針について自分の意見の是非を確認してもらい、診察や方針について診療に行き詰った際には先生方の意見を伺いながら外来診療を行いました。上級医の先生と相談して、専門性が高いと判断した場合などは他科の先生に直接相談して方針決定をするようなこともあり、診療科間の連携、コンサルテーションも非常に勉強になりました。また、医学的な部分以外のシステム的なことも分からないことが多く、周りのスタッフの方々にはご迷惑をおかけしたと思いますが、医療事務や外来スタッ

フの方々を中心に多方面に手助けしてもらいました。

外来で診療する患者さんは上気道炎症状で来院して対症療法的な処方でも帰宅となる方が多いとはいえ、中には入院になる患者さんも少なからずおられ、そういう患者さんの一部は入院中も主治医として担当しました。これまでは、外来から入院そして退院までの一連の流れすべてに携わる機会はほとんどありませんでしたが、今回担当したことで、いままでは主治医ではないため自分で悩んで決めることは少なかったし、方針を決定するうえで必要な情報もきちんと収集できていないことが多かったことを痛感しました。治療方針の決定やその説明など、自分が主体的に診療を行う今回のような経験は非常に有用なものであったと感じており、今後の研修においても自分が主治医ならどう理由でこういう方針にしたかを意識しながら診療や勉強をしていくべきであると感じました。

外来以外の時間は義務的なことはありませんでしたが、入院中の患者さんの治療方針と一緒に担当している先生方に相談したり、検査について行ったり、救急車が来れば初療を救急担当の先生と一緒に診察し、診断や治療方針の説明に同席したりと、自由に勉強する研鑽を積む時間として有意義に過ごすことができました。

研修医が一人しかいない環境ということもあり、院長先生をはじめ、直接関係のある先生も直接は関係のない先生方も、気にして声をかけてくれました。また、病棟や外来・事務のスタッフの方々も業務に関係があるなしにかかわらず、話しかけていただき、良好なコミュニケーションが図れたように思います。

1か月間という非常に短い研修期間でしたが、今まで1年間の研修で触れてきたことは医療の本当に一部でしかなかったのだ！と痛感させられる1か月でした。と同時に、医学的な教育はある程度受けてきたように思いますが、その周辺に関する教育は意識的に受けることができていなかったようにも感じました。そういう意味でも、いろいろなスタッフの方々とかかわることができて本当に良かったと思っております。

研修前・研修中の移動に関することやその他事務的なことを中心に環境整備をしてくださった高知医療再生機構の方々、新年度が始まったばかりの病院としても異動等でバタバタしている時期に受け入れてくださった研修病院、何を聞いても呆れることなく答えてくださり何かにつけて気にかけてくださった先生方、新年度で先生方が増えて混乱している中でも優しく接してくださった病棟・外来スタッフの方々など（きっと他にも気づいていないところで関わった人たちもいるとは思いますが）、本当に多方面の支援があって成り立った研修だと思っており、皆様には感謝が絶えません。大変貴重な経験を積ませていただいたと感じております。今回は研修機会を与えていただいて本当にありがとうございました。